岩手の未来を私たちの手で!

think globally, act locally

けい子の青空レポート

県政報告紙

PROFILE 昭和53年1月24日盛岡市(旧都南村)生まれ
津志田保育園▶津志田小▶見前中▶盛岡白百合学園高校▶上智大卒▶都内アパレル企業勤務▶青年海外協力隊として南米ボリビアへ▶岩手県男女共同参画センター勤務
2010年7月補欠選挙初当選▶2011年9月2期目再選▶2015年9月3期目再選▶2019年9月4期目再選
所属:農林水産委員会／人口減少対策調査特別委員会　家族構成:夫、息子(2才6ヶ月)

編集発行 吉田けい子事務所
〒020-0837 岩手県盛岡市津志田町2丁目11-27　TEL:019-681-6006 FAX:019-681-6010
<E-mail>yoshidakeiko.iwate@gmail.com　<HP>http://www.keiko-yoshida.net
<facebook>吉田敬子　<facebookページ>岩手県議会議員 吉田けい子

No.19
2020年(令和2年)11月発行

一般質問登壇　2020年6月30日

県議会6月定例会において、以下について取り上げ、提言しました!

- 新型コロナウィルス感染症対策について
- 子どもを生み育てやすい環境づくりについて
- 移住促進と雇用対策について
- 男女共同参画社会の実現について
- 農林水産業の振興について
- 教育政策について
- 文化芸術を生かした魅力あるまちづくりについて

その一部を裏面に報告します。 **全文は吉田けい子ホームページをご覧ください!→→→**

県職員の休憩時間の選択制『内丸ゆったりランチ』

9月18日、内丸ゆったりランチ(内丸第一町内会他、事務局:㈱東家)の、県への要望に同席しました。
新型コロナウィルス感染症の影響で、席を減らした飲食店が従来の昼休み時間帯では売り上げを確保できないケースがあり、県職員の休憩時間の弾力化について求めました。10月5日から現行の12時～13時に加えて、11:30～12:30、12:30～13:30から選択できるようになりました!(盛岡市も同時運用) 県職員や市職員に限らず、可能な人たちもゆったりとしたランチタイムの運用が進み、飲食店の皆さんの事業継続支援にもつながると良いですね。

農林水産委員会調査で、県内各企業等を視察しました! (9月14日～16日)

花巻おもちゃ美術館(花巻市)

いわて銀河農園(大船渡市)

谷地林業(久慈市)

県議会6月定例会・一般質問

Q 妊産婦の医療費助成の対象は妊娠5か月から産後1か月までとなっている。母子保健法の妊産婦の定義を踏まえ、助成期間を母子健康手帳交付から産後1年までとすべきではないか。

A 県では疾病の制限を設けず、妊娠中期から産後1か月までに受けた医療を幅広く助成対象としている。助成期間を拡大した場合、県の財政負担額は、現在の1億1千万円から、2億5千万円増加する。市町村もほぼ同額の負担増となる。妊産婦の医療ニーズや市町村の意向も十分踏まえ、慎重に検討する。

Q 若い世代のがん患者が、将来の妊娠に備え、**「妊孕性温存治療※1」**をする場合、保険適用外のため女性は20万～50万円、男性は4万～6万円かかる。保存を続けるためにさらに毎年数万円ずつかかる。費用助成についての考えは。

A 妊孕性温存治療は、重要と考えている。他府県の取組事例の情報収集、医療関係者等との意見交換などにより、県内の状況について把握を進め、今後の支援のあり方について検討する。

※1　がん治療前に卵子や卵巣組織の一部、精子を採り、凍結しておく方法

Q 性的少数者に配慮するための取組について、今後は企業だけでなく教育現場への理解促進の取組が重要と考える。県のパートナーシップ制度導入に関する見解と併せて伺う。

A 県では、男女共同参画センターにLGBTに関する相談窓口を設置し、啓発パネルの貸出等により普及啓発を行っている。また、学校や企業などを対象とした出前講座を実施し、中高生や教職員に対する啓発や、生徒及び保護者向けに新たなリーフレットを作成している。パートナーシップ制度は、多様な性に配慮する取組のひとつであると認識しているが、まずは相談対応や普及啓発などの取組を積み重ねながら、性別に関わりなく多様な生き方が認められる社会の実現に向けた意識の醸成を進める。

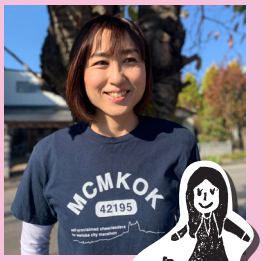
Q 家族農業は、日本の農業の中心的形態であるが、高齢化や後継者不足により大規模化が加速しているのも現状。大規模化を推進する一方で、ICTやAIなどを駆使した「次世代農業」をかけ合わせた新たな「家族農業」の実現がSDGsの取組にも寄与するものと思うが、県はどのように支援していくのか。

A 県では、「いわて県民計画（2019～2028）」に基づき、多くの小規模・家族経営を中心とする集落営農組織等の経営規模の拡大やスマート農業技術の導入による生産活動の効率化などを進めている。また、小規模・家族経営などの多様な生産者による農地や景観の保全、地域文化の伝承など、地域の農業・農村を維持する取組を推進している。また、家族経営による食料生産や多面的機能の維持・発揮に寄与する取組は、持続可能な地域社会の実現を目指すSDGsにつながるものと考えており、今後も家族農業を支援していく。

Q 若い世代が将来に展望を描ける岩手県とするためには、「まち」が多くの人にとって住み続けたい、戻ってきたいと思える魅力や文化・環境であることだと考える。障がい者アートを起点に幅広く活動するヘラルボニーや、建築家で東京大学名誉教授の藤森照信氏とデザイナーミナペルホネン皆川明氏による盛岡城跡公園芝生広場整備事業は個人的に楽しみにしている。県における**文化芸術の持つ創造性を活かした地域振興**の取組、考え方を伺う。

A 県では、「中尊寺レクイエムコンサート」「キテミテ体験！みんなdeアート」「いわてアール・ブリュット巡回展」など、県民、企業、団体、市町村など多様な主体と共に実施するとともに、「いわての文化情報大事典ホームページ」などで情報発信をしてきた。今年度も「岩手芸術祭」を開催するなど、引き続き文化芸術の振興を図り、観光やまちづくりなど様々な分野と連携して、相乗効果を生み出していきたい。

けい子の青空にっき



過去に、七時雨トレイルマラソン33kmに挑戦した私ですが、産後、なかなか運動する機会がなく、盛岡シティマラソンを勝手に応援する会（MCMKOK /モクモク）主催のオンラインマラソン大会に申し込みました！ 走行距離は42.195kmの1割の4.2km!! 私もイチワリ参加(^^) コーヒー消費量全国2位の盛岡から「喫茶 ｃａｒｔａ」や「自家焙煎珈琲 六月の鹿」の参加賞が付いていました！ 来年のいわて盛岡シティマラソンで、フルマラソンに参加できるでしょうか??

新型コロナウィルス感染症は、学校や仕事、社会生活など様々なところに影響が広がっています。
県への要望、対応や支援策について詳しく知りたいなど、ご意見ご感想などもぜひお寄せください。

FAX 019-681-6010 Mail yoshidakeiko.iwate@gmail.com

日々の活動や県の支援策等は Facebook 等で発信しています

後援会
入会随時
受付中